

# Quatuor Voce

## ヴォーチェ弦楽四重奏団

精緻なアンサンブルと躍動する色彩感

パリのエスプリ溢れる絶妙の間合い



ヴァイオリン  
セシル・ルーバン  
Cécile Roubin, violin

チェロ  
リディア・シェリー  
Lydia Shelley, cello

ヴィオラ  
ギヨーム・ベケール  
Guillaume Becker, viola

ヴァイオリン  
サラ・ダイヤモンド  
Sarah Dayan, violin

©Sophie Pawlak

### プログラム

- ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第3番
- バルトーク 弦楽四重奏曲第1番
- ブラームス 弦楽四重奏曲第3番

# 11.11

2018 | 日 |

チケット料金 / ¥ 3,000 【全席指定 / 税込】

15:00開演 (14:30開場)

会場 / 京都 青山音楽記念館 バロックザール

チケット発売 **2018年7月14日(土)10:00より発売開始**

チケットぴあ <http://t.pia.jp/> ..... ☎0570-02-9999 (Pコード120-714)  
ローソンチケット <http://l-tike.com/> ..... ☎0570-000-407 (Lコード57319)  
京都 青山音楽記念館 バロックザール ..... ☎075-393-0011 (月・火 休館)

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等はいたしかねます。予めご了承ください。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。





4人の音は一心同体で、有機的に機能していたといえる。

緩楽章では楽譜に書かれた明らかな波動が心地よく、穏やかに、押し寄せては引いていくようだった。

フランクフルター・アルゲマイネ紙

考えに考え抜かれた演奏。些細なピッチカートすら徹底的に考察、練習、議論を重ねているように聞こえる。

スコアの隅々まで、書かれている音がどれも美しく柔軟に、説得力をもって響いてくる。  
ヴォーチェ弦楽四重奏団、もっと聴いてみたいと思わせる、素晴らしいクアルテットだ。

ターゲスシュピーゲル紙



©Sophie Pawlak

チェロ

リディア・シェリー  
Lydia Shelley, cello

ヴィオラ

ギヨーム・ベケール  
Guillaume Becker, viola

ヴァイオリン

セシル・ルーバン  
Cécile Roubin, violin

ヴァイオリン

サラ・ダイヤン  
Sarah Dayan, violin

# クオアトル・ヴォーチェ

## ヴォーチェ弦楽四重奏団

2004年にパリ国立高等音楽院の卒業生により結成、その後数年間で、国際音楽コンクールで数々の受賞を飾り、瞬間に国際的な評価を確立した。ヨーロッパ各地はもちろんのこと、日本、北米、南米、北アフリカで演奏活動を繰り広げている。

あらゆる表現形式に対し常にオープンな姿勢で臨んでいる彼らだが、とりわけ現代音楽への関心は高く、同時代の作曲家による委嘱作品に意欲的に取り組んでいる。これまでブルーノ・マントヴァーニ、ジャンヴィンチェンツォ・クレスタ、グラシアヌ・フィンジ、アレクサンドロス・マルケアス、フランソワ・メイムン、ザド・ムルタカといった作曲家たちの作品を演奏してきた。また4人とも好奇心旺盛で、実験的な舞台を創り続けている。例えば、W.F.ムルナウやバスター・キートンによるサイレント映画に合わせた演奏「シネマ・コンサート」、音楽学者であるバーナード・フルニエや歌手/ギタリストの-M-、コレオグラファーのトーマス・ルブランとのコラボレーション、さらにカナダのネオ・フォークシンガー(モダンフォーク系シンガーソングライター)、キリエ・クリストマンソンとは『Modern Ruin』と題したアルバムを2015年にリリースしている。今後もさまざまな世界にアンテナを張りめぐらし、クラシック、コンテンポラリーの垣根を越えた野心的な音楽活動を展開していく。

バロックザール  
*Barocksaal*  
京都 青山音楽記念館

お問い合わせ  
☎ 075-393-0011

9:30~18:00 月・火 休館

〒615-8282 京都府京都市西京区松尾大利町9-1  
阪急電鉄嵐山線「上桂駅」下車、西へ300m

<http://www.barocksaal.com>

